

平成30年度学校経営計画書

石川県立金沢向陽高等学校
校長 石倉 喜八朗

1 教育目標

「個性豊かで品位があり、創造的で実践力のある人材」を育成する。

2 中長期的目標

(1) 学校の現状

- ①多様化する生徒に対応したきめ細かな指導を通して、学習習慣を身につけるとともに生徒の学習意欲の向上を図る指導が必要である。
- ②面談や登下校指導などの粘り強い指導の継続による生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上が必要とされている。
- ③学力向上のための取組や部活動活性化のための取組の成果が一定の評価を受けているが、基礎学力の向上、進路の実現等、生徒の自己実現に向けた継続的な取り組みの強化が全学年で求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①望ましい基本的な生活習慣を確立させるとともに規範意識の向上に努め、健全な社会性を身につけさせる。
- ②地道に学力を向上させ、生徒の進路実現に向けて努力する。
- ③誠実さや思いやる心、仲間とともに努力を継続する力を身につけさせる。
- ④ふるさと金沢の歴史や文化に親しみ、地域と積極的に交流し、広い視野に立って行動できる人間を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ①学校長の学校経営方針のもとに、全教職員が一丸となって課題に取り組む。
- ②各主任や課長がリーダーシップを発揮し、組織的に学校運営に取り組む。
- ③全教職員が問題意識を持って生徒理解や授業の改善を図り、指導力向上のために絶えず研鑽を積み重ねる。
- ④服務規律を遵守するとともに合理的でかつ効率的・効果的な教育活動に取り組む。

3 今年度の重点目標

- (1) 規範意識を高め、遅刻欠席をしない、挨拶をきちんとするなど基本的な生活習慣の確立した生徒を育てる。
- (2) 落ち着いた学習環境のもと学習意欲と基礎学力の向上を目指し、3年間を見通した進路指導の実践により生徒の進路実現を図る。
- (3) 全員加入による部活動の一層の活性化を推進し、心豊かな人間性と社会性を身につけた人材を育成する。
- (4) 生徒のボランティアや学校開放及び情報発信などの地域貢献を通して、保護者や地域に信頼され評価される学校づくりを行う。
- (5) ワークライフバランスを意識した働き方改革に取り組み、時間外勤務時間短縮に努める。